

NEWS RELEASE

中国エリア初 在来線への再生可能エネルギー由来電力導入

西日本旅客鉄道株式会社と中国電力株式会社は、再生可能エネルギー由来電力（以下、再エネ電力）を列車運転用電力として供給する、オフサイトコーポレート PPA（Power Purchase Agreement：電力購入契約）を新たに締結しました。

この取り組みは、中国エリアに新たに開発される太陽光発電所で発電された再エネ電力の全量を、JR西日本の中国エリア在来線（山陽本線）の運転用電力として供給するものです。

なお、中国エリアの在来線において再エネ電力を導入するのは今回が初めてとなります。

当社は脱炭素社会の実現に向け、環境長期目標「JR 西日本グループ ゼロカーボン 2050」を掲げ、グループ全体の CO₂ 排出量を 2030 年度に 50%削減（2013 年度比）、2050 年に「実質ゼロ」とすることを目標とし、2025 年 11 月には日本の NDC（国が決定する貢献）で新たに設定された中間目標に合わせ、2035 年度に 60%、2040 年度に 73%（いずれも 2013 年度比）削減の目標も追加しました。再エネ電力の導入は、その目標達成に向けた重要な取り組みの一つです。私たちは脱炭素社会の実現に向け、今後もさらなる取り組みを進めてまいります。

1. 再エネ電力供給線区

山陽本線：三石駅～下関駅間(中国電力ネットワーク株式会社送配電供給エリア)

2. 再エネ電力導入規模

発電容量ベース：約 16,000kW

電力量ベース：約 0.3 億 kWh／年（当該区間の年間運転用電力の約 9%相当）

本件により、先行して計画している再エネ電力導入量と合わせて、JR 西日本の在来線全体の運転用電力（年間約 16 億 kWh）の約 13%相当が再エネ電力に置き換わります。

3. CO₂ 排出削減量

約 11,000 t／年（約 4,500 世帯分）の CO₂ 排出量が削減できます。

※令和 6 年度電気事業者別排出係数全国平均、令和 5 年度家庭部門の CO₂ 排出実態統計調査結果から算出

4. 供給開始時期

2026 年 3 月 1 日以降順次供給開始し、2026 年度末迄に全量供給開始を予定。



本件のオフサイトコーポレート PPA イメージ

今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 7 番、9 番、13 番、17 番に貢献するものと考えています。

